

藻場づくり事業 アマモ場づくり啓蒙活動

1月11日(水)

去年の10月11日に、西条市立楠河小学校の4年生のみなさんに、環境学習の一環として「アマモの種苗作り」に取り組んでもらいました。種を植えたポットを中予水産試験場東予分場で育成していたところ、約3ヶ月後に芽が出てきました。なかなか芽が出ないので心配していましたが、ポットの中を調べると種が割れて芽が伸びる準備はできていました。この冬は水温が低いので、予想していたよりも発芽が少し遅いようです。

アマモの発芽は、まず、白い糸のようなもの(中胚軸という)がでた後、小さな緑色の葉が出てきます。緑の葉が10cm程度に生長すれば、河原津のアマモ場造成海域に植え付けることにしています。



調査中のポットと発芽したポット



発芽したアマモ

白い糸状のもの(中胚軸)

緑の葉(第1幼葉)